

# 文教民生常任委員会

令和3年8月6日  
委員会室

## 1 開 会

## 2 協議事項

- (1) 令和3年度事務事業評価事業について
- (2) その他

## 令和3年度事務事業評価事業の取組について

### 1 評価事業を「児童・生徒を中心とした読書活動」とする。

その根拠は、下記の報告書等にあるように、読書と学力は密接に関連しており、読書活動は考える力や心の落ち着きの基礎となる。

西脇市第2次総合計画の「第1章・政策5の2」、「第5章・政策3の4」に記載されている取組がどのように実践されているかを調査し、読書活動がより進むように貢献する。

### 2 取組の具体策

(1) 読書活動と学力・学習状況の関係についての調査

(2) 西脇市の読書活動取組の調査

人生の初期段階から中学生時代までを中心に

(3) 具体的には、「西脇市子どもの読書活動推進計画」の実施状況の調査を行う。

(4) 別紙に記載している「目標値」を参考に、取り組みの評価を行う。

## 読書量と学力に関する調査結果

ベネッセ教育総合研究所 2021.3.15

### 読書量と国語の学力の関係性について

- ・読書は、国語の基礎力・思考力と密接に関連している。
- ・読書は夢中になる体験や心理的な安定につながる
- ・読書量が多いほど「心が落ち着く」傾向がある。

## 読書活動と学力・学習状況の関係に関する調査研究分析報告書

平成21年度 文部科学省 委託調査研究 静岡大学

### 教科の学力と児童生徒の読書活動について

読書好きな児童生徒ほど教科の学力が高い。

科目、学力層、領域、設問形式によらずこの傾向が確認できるという意味で、これは非常に強固な傾向であるといえる。この強固さが確認できたことは、今回の調査研究における重要な知見の一つと考えられる。

長時間の読書は教科の学力向上に最も適しているわけではないが、学力の高い児童生徒ほど平日に読書を行っている。

読書活動に関する項目

第1章 未来を拓く次世代が育まれるまち

政策5 学校教育を充実する

2 豊かな心と健やかな体を育みます

図書館と連携しながら学校図書の実充を図り、生きる力を育む読書活動を推進します。

第5章 生涯活躍・共生社会の実現

政策3 施策の展開

4 図書館サービスを充実します

様々な図書館事業を行い、読書に親しむ機会づくりを進めます。子どもの読書活動推進計画に基づき、学校園などと連携しながら幼少期からの読書習慣の定着に向けた取組を進めます。

西脇市子どもの読書活動推進計画

2019（H31）年3月

西脇市教育委員会

子どもの読書活動推進計画の取組

1 家庭での読書活動の取組

- ア 西脇市図書館での「おはなし会」や「えほんのじかん」への参加
- イ 保護者向け「絵本の読み聞かせ基礎講座」への参加
- ウ 市図書館の積極的利用
- エ 保護者への啓発のチラシの作成、配布（市の取組）
- オ 出生時と10か月児に絵本を提供（市の取組）

2 地域での読書活動の取組

- ア 各地域の諸施設の活用
- イ 各地域で活躍されているボランティアの方々の協力による「絵本の読み聞かせ」や「おはなし会」の実施
- ウ 地域ボランティアや図書館による放課後児童クラブでの読書活動への支援

3 認定こども園・保育園・幼稚園での読書活動の取組

- ア 保育教諭による日常的な読み聞かせの実施

- イ 教員と保護者との連携による読書活動の取組
- ウ 高校生や中学生、保護者等による読み聞かせの実施
- エ 西脇市図書館の図書団体貸出の利用啓発（市の取組）
- オ 西脇市図書館の学校園への図書団体貸出運搬事業の積極的活用

#### 4 小・中・高等学校での読書活動の取組

- ア すきま読書や移動書架等の身近な場所への図書設置の取組
- イ 市図書館の学校園への図書団体貸出運搬事業の積極的活用
- ウ 「読書レター」等小中連携による読書活動の推進
- エ ブックママ等保護者やボランティアによる読書活動支援の導入
- オ 学校と家庭との連携による「家読」の推進
- カ おはなし会やブックトーク等での市図書館司書との連携推進
- キ 「朝の読書」の拡大推進
- ク 教師や図書委員、地域ボランティア等による読み聞かせ実施の積極的な取組
- コ 団体貸出図書の読書通帳への印字のための西脇市図書館システムとの連携への取組（市の取組）
- サ 学校図書室への蔵書管理システム導入の推進（市の取組）

#### 5 西脇市図書館での読書活動の取組

- ア 「おはなし会」「えほんのじかん」等の定期開催
- イ 「子どもの読書週間」行事の実施
- ウ 秋・春の「図書館まつり」の実施
- エ おすすめ本リストの作成・配布・展示
- オ 子どもの調べ学習への支援
- カ 団体貸出及び運搬業務の業者委託の実施
- キ 読み聞かせやストーリーテリング、ブックトーク等の出前訪問実施
- ク トライやる・ウィーク、インターンシップの受入れ
- ケ 出生届出時と10か月児乳児相談時の2回の絵本提供
- コ 障害のある子ども向けの資料の充実

(別紙) 各計画の目標

西脇市総合計画

(施策)	単位	区分	基準値	目標値
図書貸出冊数	冊	H29年度	396,473	430,000
図書館入館者数	人	H29年度	186,780	210,000
読書が好きな 児童生徒の割合	%	H29.4	68.7	73

第3期西脇市教育振興基本計画 2019 (H31) 年度～2023 (R5) 年度

「教育創造にしわきプラン」

測定指標

・確かな学力の育成

・読書活動の充実

学校図書室における年間貸出冊数 (P15)

2018年度 (25,600冊) ⇒ 2023年度 (30,000冊)

・生涯学習の推進

・西脇図書館における読書活動の推進

図書貸出冊数 (P34)

2017年度 (396,473冊) ⇒ 2023年度 (500,000冊)

図書利用券の登録者数

2017年度 (26,213人) ⇒ 2023年度 (34,000人)

読書通帳サービス利用者数

2017年度 (5,569人) ⇒ 2023年度 (10,000人)

図書館の蔵書内容が充実していると思うと回答した市民の割合

2018年度 ( — ) ⇒ 2023年度 (70%)

西脇市教育振興基本計画 (後期) え～まちにしわき! e-プラン

推進指標

指標名	現状 (H25)	H30
1日当たり1時間以上読書をしている児童生徒の割合	小6年 10% 中3年 12%	小6年 100% 中3年 100%
(H25 全国学力・学習状況調査から)		
小学校の図書達成率	104.7%	100%より大
中学校の図書達成率	85.3%	90%

図書達成率

学校図書館の整備すべき蔵書数の割合（標準を文部科学省が設定）

団体貸出利用券を作成して市立図書館の貸出を受けている学級の割合	89.8%	100%
市立図書館での貸出冊数（年間）	158,695 冊	350,000 冊
市立図書館での貸出者数（年間）	32,492 人	100,000 人

**令和2年度  
事務事業評価報告書**

**令和3年8月**

**文教民生常任委員会**

**文教民生常任委員会 事務事業評価**  
**評価対象事業「野外活動施設維持管理事業（キャンプ場）」**

1 事業の目的

青少年の健全育成のために整備された野外活動施設の維持管理  
所管は教育委員会 青少年センター

2 計画の位置付け

第2次西脇市総合計画 基本構想・前期基本計画  
第1章 未来を拓く次世代が育まれるまち  
政 策 教育を支える環境を整える  
施 策 家庭や地域と連携します

3 調査の目的

毎年、利用者は微増しているものの、本来の目的である青少年の健全育成の施設としての利用はないのが現状である。市の事業として適切か否か現地視察をして協議する。

4 対象となる野外活動施設（キャンプ場）

- (1) 県民広場キャンプ場・・・鹿野町
- (2) 奥山キャンプ場・・・富吉上町
- (3) 武嶋キャンプ場・・・大木町
- (4) 木谷山キャンプ場・・・出会町

5 調査内容

(1) 利用状況

担当課に4施設の利用件数、利用者数（おとな・子ども別）、市内利用者、市外利用者等の分かる資料請求

<委員会で協議>

市内のキャンプ場は4カ所とも利用件数、利用者数は僅かずつではあるが増えている。内訳は大人の利用は増えているが子どもの利用は減少している。また、市内利用者 385人に対し市外利用者は 4,490人と市外からの利用者が多く（令和2年4月～令和3年3



月末の利用状況)、市民のための施設にはなっていないとも言えるが、西脇市民も他市のキャンプ場を利用していることから「お互いさま」と言える。(市民利用率: 7.9%)

## (2) 市内キャンプ場視察

令和2年7月17日(金)に下記の4施設を視察

<委員会で協議>

キャンプ場の設備

	電 気	上 水 道	水洗トイレ	くみ取り式トイレ	東 屋	炊 事 棟
県民広場キャンプ場		○		○		○
奥山キャンプ場				○		
武嶋キャンプ場				○		
木谷山キャンプ場	○	○	○		○	○

- ・ 県民広場キャンプ場 ・ ・ 一日一組の利用に限定されている。そのため他と比べると利用件数、利用者数は少ないが年間通じて利用されているので県民広場キャンプ場のファンがあるように感じる。ゴールデンバレーゴルフ場に隣接し、池があり、景観は良い。
- ・ 奥山キャンプ場 ・ ・ 設備はトイレ(くみ取り式)があるだけだが年々利用件数は増えてきている、「おひとり様キャンプ」のブームが要因とも思われる。
- ・ 武嶋キャンプ場 ・ ・ キャンプ場が広く、それぞれのテントが独立して張れる。昨今流行のゲームに使用されるBB弾が散乱している点が懸念される。
- ・ 木谷山キャンプ場 ・ ・ 設備(電気・上水道・東屋・炊事場・水洗トイレ)が充実している。4つのキャンプ場の中では一番利用が多く環境が良い。

## (3) 予算

野外活動施設維持管理事業予算

R2年度予算 1,371,000円

需要費 105,000円 (消耗品費、光熱水費、修繕費)

委託料 276,000円 (キャンプ場整備委託料)

工事費 990,000円 (奥山キャンプ場東屋解体費)

R3年度予算 381,000円

需要費 105,000円 (消耗品費、光熱水費、修繕費)

委託料 276,000円 (キャンプ場整備委託料)

<委員会で協議>

令和2年度は奥山キャンプ場東屋解体工事費が990,000円計上されたが、例年、

381,000円の予算である。そのうち委託料が276,000円で4カ所のキャンプ場の整備を委託している。里山の管理や整備にもなり予算は適正である。

#### (4) 課題

- A 今後も、当初の目的である青少年の健全育成の施設として維持する
- B 目的の変更や有料にする等 現状に合った施設にする
- C 観光とリンクさせるなどして利用者を増やす工夫をする

<委員会で協議>

Aについての意見

- ・ 青少年育成の野外活動の場とするのなら4カ所とも残したらよい。
- ・ 昔は、子ども会やボーイスカウトが利用していたが、今はその活動がほとんどない。
- ・ 目的のひとつには自然と親しむということもあるので施設は今のままでよい。
- ・ 西脇市民の一部は利用しているが、大半は他市のキャンプ場を利用していることより、お互いさまの交流人口で良いのではないか。

Bについての意見

- ・ 観光資源とするなら有料にする。
- ・ 有料の場合は、利用料の徴収等、課題がある。
- ・ 教育施設として考えるなら青少年センターから所管を変更して生涯学習課にする。

Cについての意見

- ・ 観光の施設にするには水道や設備に費用がかかる。
- ・ 観光を取り入れるなら所管は商工観光課になる。
- ・ 受付の時にキャンプ場のある地区の案内図を渡して、行き帰りに買物によってもらうような広がりがあるようにするとよい。
- ・ ネット予約の時に地域のPRをしてはどうか。

#### (5) 他市のキャンプ場利用状況

西脇市のキャンプ場と同様のキャンプ場として4月19日に小野市鴨池公園キャンプ場を視察する計画を立てたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、他市への視察は中止とし、下記のキャンプ場の利用状況の資料を入手した。

<委員会で協議>

- ・ 小野市鴨池公園キャンプ場・令和2年度(4月～10月)の利用者は634人、うち市内利用者は224人、市外利用者は410人(11月～3月までは野鳥の飛来時期で休園)。

(市民利用率: 35.3%)

- ・加西市古法華自然公園キャンプ場・・30張が張れる広さがある。令和2年度は市内利用者 315人に対し市外からの利用者が15,500人。バーベキューサイトもあり、そちらの利用も多い。(市民利用率:1.99%)

\*2カ所ともに市外からの利用者が圧倒的に多くなっており、西脇市と同様である。

## 6 委員の評価

事務事業評価表は別紙添付

## 7 評価について委員の意見

### (1) 妥当性について

アウトドア志向がコロナ禍で加速し、市民利用は少ないが市外からの利用者数が年々増加している。無料で利用でき結果として交流人口の増加に寄与しており妥当な事業である。

### (2) 有効性について

当初、青少年の健全育成のための野外活動施設であったが、昨今は大人主体の施設となっている。当初の事業目的とは異なるが、利用者数の増加や、キャンプ場整備が里山の環境維持にもつながり有効な事業である。

### (3) 効率性について

最小限の予算・人員で運営されており、整備にも地元住民の協力を得て効率よく運営されている事業である。

### (総合評価)

この事業は、青少年の健全育成のための野外活動施設としてその役割を果たしてきた。昨今はファミリーや大人のキャンプ場として活用されている。無料で利用でき、大半が市外在住者の利用で、近年増加傾向が続き西脇市の魅力の一つとなっている。結果的に交流人口の増加にも寄与しており、委員会として妥当性・効率性においては高い評価となった。

## 8 委員会の結論

総合評価の通り、この事業は現状のまま継続すべき事業とする。

委員より、当初の目的である青少年の健全育成のための施設の役割を終え、現在は一般のキャンプ利用となり目的が変わった。よって所管部署が現在のままで妥当なのかを協議した。またキャンプ場利用者の市内消費に繋がる取組や、観光資源としての活用を考えて

はとの意見があり協議をしたが、委員会の結論は、4カ所ともに個性があり少ない事業費で効率的に運営され現状でも利用者が増加していることを踏まえ「現状のまま継続すべき」とする。

以 上

別紙（事務事業評価表）

議会による事務事業評価（議員）

評価対象事業名	野外活動施設維持管理事業（キャンプ場）		
所管常任委員会	文教民生常任委員会	評価者	
基本政策	第1章 未来を拓く次世代が育まれるまち		
政策	教育を支える環境を整える		
施策	家庭や地域と連携します		

事業評価（5段階評価）

項目	評価	評 価 内 容				
		理由（該当する項目を三段階で評価）				
		(○) 良好・すべき (△) どちらともいえない (×) 不良・すべきでない			○	△
妥当性	4	ア) 社会情勢からみて実施すべきか	7			
		イ) 一定の成果が上がっているか、引続き継続すべきか	6	1		
		ウ) 行政で行うべきか（税金を使うべきか）	7			
		エ) 他事業とサービスが重なっていないか	6	1		
		オ) 他自治体と比べサービスの対象、内容が適切か	3	4		
		カ) 市民全員のためになっているか		4	3	
有効性	3	ア) 前年以前と比較し、事業効果は上がっているか	6	1		
		イ) 事業目標が達成できているか		3	4	
		ウ) 目標が達成可能な事業であるか		2	5	
		エ) 目標が低く設定されていないか	-	-	-	
		オ) 職員や外部からの人材活用が十分なされているか	-	-	-	
		カ) 環境を保全する配慮がなされているか	7			
効率性	4	ア) コスト削減を考えたとき、実施方法は適切か	6	1		
		イ) 提供するサービスの質を考えたとき、実施方法は適切か	5	2		
		ウ) 地域、民間業者等に委託することが望ましくないか		2	5	
		エ) 事業に投入された人員は適切か	6	1		
		オ) 事業の合理化は図られているか	5	2		
		カ) 受益者負担等は適切か	6	1		
総合評価	4					

今後の方向性		拡充	評価指標	
	○	現状のまま継続すべき	5	極めて高い
		見直しのうえ継続すべき	4	高い
		事業単位を見直し (統廃合・縮小のうえ継続)	3	普通
		廃止	2	低い
※単年度事業以外はその理由を総合評価に対する特記事項に記載			1	極めて低い

野外活動施設維持管理事業に係る施設の利用人数

	件数	前年度比	大人(人)	前年度比	子ども(人)	前年度比	合計(人)		前年度比
							件数	人数	
木谷山キャンプ場	平成31年3月末	414件	1,105人		316人		1,421人		
	令和2年3月末	524件	1,542人	+437人	313人	-3人	1,855人	+434人	
	令和3年3月末	695件	1,767人	+225人	291人	-22人	2,058人	+203人	
県民広場キャンプ場	平成31年3月末	94件	317人		112人		429人		
	令和2年3月末	104件	327人	+10件	96人	-16人	423人	-6人	
	令和3年3月末	157件	426人	+99人	90人	-6人	516人	+93人	
奥山キャンプ場	平成31年3月末	234件	611人		40人		651人		
	令和2年3月末	299件	818人	+207人	91人	+51人	909人	+258人	
	令和3年3月末	404件	814人	-4人	39人	-52人	853人	-56人	
武嶋キャンプ場	平成31年3月末	171件	494人		44人		538人		
	令和2年3月末	314件	694人	+200人	54人	+10人	748人	+210人	
	令和3年3月末	725件	1,380人	+686人	68人	+14人	1,448人	+700人	
合計	平成31年3月末	913件	2,527人		512人		3,039人		
	令和2年3月末	1,241件	3,381人	+854人	554人	+42人	3,935人	+896人	
	令和3年3月末	1,981件	4,387人	+1,006人	488人	-66人	4,875人	+940人	

県内外の利用者の状況(令和2年4月～令和3年3月末)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
県外(大阪府以外)	1	1	0	0	6	16	2	10	7	11	2	4	8	20	4	7	5	10	0	0	0	0	4	9	39	88
大阪府	4	18	0	0	21	48	24	57	15	30	36	72	34	59	42	79	44	95	15	31	0	0	20	37	255	526
県外利用者計	5	19	0	0	27	64	26	67	22	41	38	76	42	79	46	86	49	105	15	31	0	0	24	46	294	614
県内市外	28	103	0	0	101	253	100	308	119	330	106	272	167	404	158	423	181	455	159	349	232	488	219	491	1,570	3,876
西脇市内	2	4	0	0	9	22	12	33	12	66	6	21	9	24	14	38	8	28	9	29	18	40	18	80	117	385
県内利用者計	30	107	0	0	110	275	112	341	131	396	112	293	176	428	172	461	189	483	168	378	250	528	237	571	1,687	4,261
合計	35	126	0	0	137	339	138	408	153	437	150	369	218	507	218	547	238	588	183	409	250	528	261	617	1,981	4,875

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 ○令和2年4月9日から5月31日まで閉鎖 ○令和3年2月8日から3月7日まで県内在住者のみ使用可能とする制限を設ける

・その他の使用制限 ○奥山キャンプ場東屋解体工事のため、4月1日から4月30日まで閉鎖